

いよいよその一部が 12 月から試運転を始めることになり、来春から正式稼働に入ることになった。同機はこれまで艦艇用鋼板を主とした特殊サイズのキルド鋼を主として生産して来たが、今回の近代化によりキルド鋼のみでなく、セミキルド鋼、リムド鋼による大型圧延鋼材の生産をも行うことになった。

八幡洞岡焼結工場完成

八幡製鉄所の洞岡焼結工場は昨年着工以来、建設が進められていたが、この程完成、作業が開始された。同工場は第一次合理化計画の一つとして総工費 7 億円で建設されたもので、米国アーサー社から購入したドワイト・ロイド式、日産 1,000t で日本最大の設備となっている。

— 研究部會記事 —

第 2 回銑鐵部會 日時：昭和 28—7—2。場所：富士製鉄紀尾井寮（東京）。出席者：部会長浅田譲君外委員、臨時出席者及幹事等 34 名。議事概要：議題は下記の通りである

1) 現在稼働中の熔鉄炉の説明と其の特性について、2) 鉍石メリット計算法に関する検討。3) 世界各国製鉄事情の検討。4) 銑鉄規格の策定について。(以上) 議題 1) については、和田（八幡）、芹沢（富士広畑）、佐伯（富士釜石）、小野田（富士室蘭）、入（日本鋼管）、戸ヶ谷（日鋼鶴見、江上（小倉）、永田（尼鉄）、渡辺（中山）、菊地（川鉄千葉）、の各氏から夫々の作業所に関する説明があり、之等に対して質疑応答が交わされた。次いで議題 2) について論議が行われ順次 3)、4) に移り、終りに今後の議題に関し意見を交換した。

鋼材部會第 9 回分塊分科會 日時：昭和 28—10—6。場所：協会会議室。出席者：主査内川悟君外委員及幹事等 12 名。議事概要：1) 疵の分類案（別表一略）は大体決定したものであるが次回に尙これを審議検討する。2) 研究資料の取まとめについては、A. 均熱炉（富士室蘭担当）、B. 加熱炉（住友金属担当）、C. 二重逆転圧延機（八幡製鉄担当）、D. 三重圧延機（日本鋼管担当）、E. 附属設備（富士釜石担当）、F. 管理（川崎製鉄担当）、G. 疵及其の検定基準（神戸製鋼担当）、H. 人員問題（日亜製鋼担当）、等何れも次回になほ検討を加え全部を分科會報告書として取りまとめる。

1314頁よりつづく

業に就て（芹沢正雄）。(4) 自動車用鋼材の趨勢及日英米自動車用鋼の比較（本山盛太郎）。(5) 熔蝕亜鉛メッキの現状（久松敬弘）。(6) 鋼材の熔接性（木原博）

協議事項

1. 昭和 28 年 12 月号原稿選定の件一別紙の通り決定。
2. 各会社、学校、研究所刊行誌掲載記事中より重要目次選定の件一各月の編集委員会の際協会備付の雑誌によって選定のこと。
3. 英文鉄と鋼第 2 号刊行の件一下記の通り決定。
 1. 内容の体裁は第一号の通りとす。2. 1952 年に於ける日本の製鉄技術について（会長）を掲載。3. 口絵は神戸製鋼、川鉄、及び住友金属の写真を掲載。4. 維持会員の住所、主要製品欄は再照会の上再掲のこと。
 5. 印刷費は第 1 号予算の通り 20 万円とし、印刷費軽減の為、主要会社及び問屋の広告を掲載
5. 第 46 回講演大要号中より会誌掲載用論説選定の件、差し当り下記番号を選び寄稿方依頼のこと。

2, 3, 4, 19, 20, 21, 23, 26, 27, 32, 34, 35, 45, 46, 52, 65, 70, 79, 81, 83, 87, 88, 95

日 本 鐵 鋼 協 會 記 事

(I) 昭和28年度第9回理事会 日時: 28—11—11(水) 16:30~8:30, 会場: 協会々議室. 出席者: (会長) 伊藤隆吉. (副会長) 小林佐三郎, (理事) 内川 悟, 菊池浩介, 佐藤忠雄, 横山均次. (前会長) 俵 国一, 田中清治. (監事) 石田 稔. (常務委員) 芥川 武, 岡本正三, 俵 信次, 西村吉太郎. (事務局長) 橋本芳雄

報告事項

[I] 秋季講演大会の件

- 1) 参加全員約 500 名 (出席費納入申込者 376, 当日申込 55, その他 70—実行委員, 役員等の未申込出席者, 各会場事務員等を含む)
- 2) 第1日講演中欠講のもの 25 番
- 3) 工場見学 各班無事完了
- 4) 実行委員, 寄附会社等に対する礼状発送済 (28—10—30 関西支部経由)
- 5) 見学工場, 見学代表者, 講演司会者宛礼状発送済 (28—10—28)

[II] 日本学術会議第3期会員選挙候補者一覧受領の件 (28—10—23)

[III] 日本学術会議第5部集報 No.2 の原稿料 (1,500 円) 受領の件 (28—10—16)

[IV] 協会が工業標準化事業に協力したる廉により通商産業大臣より感謝状を授与せられたる件 (28—11—16)

[V] 焼入性, 及オーステナイト粒度 J.I.S. 原案作成委員会設置に関する見積書訂正差出の件 (28—11—5)

[VI] 受領交換函書の内 Annual Statistical Report of American I.S.I. (1952)

Year Book of American I.S.I. (1952)

協議事項

[I] 品質管理討論会開催の件 (日時 28—11—24(25)—鉄鋼関係一場所・東大工学部第21教室, 第31番教室) 決定

[II] 東京地方講演会開催の件 (日時 28—11—27 后 1:30 より, 場所・東大工学部 21 番教室, 講師・東大名誉教授三島徳七氏, 東京都立工業奨励館館長橋本字一氏) 金属学会と共同にて一決定

[III] 講演会終了後両学会理事会の連合懇親会開催の件 (28—11—27 后 5 時より, 赤門協・学士会館にて) …決定 原案通り

[IV] 東大教授 (応用化学科) 矢木栄氏より, 日本燃焼懇話委員会 (仮称) 設立に当り委員推薦方依頼ありし件, (内川理事, 芥川常務委員を推薦) (28—10—31)

[V] 昭和 28 年 10 月分収支決算審議の件—承認

[VI] 入退会者其の他会員異動に関する件—承認

[VII] 職員中村保彦辞職許可及後任採用の件—承認

(II) 昭和38年度第8回編集委員会 日時: 昭和 28 年 10 月 27 日 (火) 16:30~23:00. 会場: 住友金属工業 K.K. 新宿寮. 出席者: (理事) 菊池浩介, 横山均次. (常務委員) 芥川 武. (編集委員) 池田義孝, 内山道良, 沢 繁樹, 長谷川正義, 浜本甲子生, 松下幸雄, 辻畑敬治, 森永孝三, 安田洋一, 吉田道一. (臨時出席) 高見沢栄寿. (協会事務局長) 橋本芳雄, (編集主任) 三宅運秀.

報告事項

1. 昭和 28 年 8 月号 (講演大要) は 9 月 30 日完成発送済み. 9 月号は 10 月 20 日完成発送済み.

10 月号は 11 月 10 日完成の予定. 11 月号は 11 月末迄に完成の予定.

2. 編集委員光井清君の後任は, 八幡製鉄本社技術部製鉄課長辻畑敬治君に決定.

3. 技術資料入手状況 (最近のもの)

(1) 最近の鑄鉄材料 (飯高一郎). (2) 最近に於ける鑄鉄ロールの材質 (大谷孝吉). (3) 硫酸洋脱銅試験及作
以下 1313 頁へつゞく